

下痢止め薬

静内診療所 野坂 拓史

馬が下痢をした時にはどんな薬を使っていますか？下痢止め薬にも色々種類があり、有効成分によって効果が変わってきます。また、組み合わせによっては効果を打ち消しあってしまう場合もあるので、使っている薬の成分・効能を知ることによって、より効果的に投与しましょう。

- 収斂(しゅうれん)剤：薬が腸粘膜のタンパクと結合し被膜を作り、胃腸に病原菌や毒素が付着しないようにする
タンニン酸アルブミン、次硝酸ビスマスなど
※注意…タンパク凝固作用があるため、ミルクやタンパクを成分とする薬(生菌剤、消化酵素)とは混ぜない
- 制酸剤：胃酸を中和し、胃粘膜を保護する
オメプラゾールなど
- 殺菌剤：胃腸の細菌を殺す
タンニン酸ベルベリンなど
- 吸着剤：有害物質(有害細菌、毒素、ガス)を吸着し、便と一緒に体外へ排出する
天然ケイ酸アルミニウム、スメクタイト、薬用炭など
※注意…他の薬と混ぜると薬を吸着してしまい十分な効果が得られなくなる可能性がある
- 消化酵素：ミルクや飼料の消化を助ける
ベタイン、ペプシンなど
- 生菌剤：いわゆる善玉菌。有害細菌の増殖を抑える
乳酸菌、酪酸菌、枯草菌など
※注意…抗生剤や殺菌剤と混ぜると善玉菌が弱ってしまう
- 抗生剤：有害細菌を殺す、増殖を抑える
オキシテトラサイクリンなど
※注意…有害細菌だけではなく、善玉菌や腸内細菌にも作用する
- 消化管機能改善薬：消化管の運動を促進する
モサプリドなど
- 消化管機能抑制薬：消化管の運動を抑制し、過剰な排出を抑える
ロートエキスなど
※注意…有害細菌の排出も抑制される、また便秘になりやすい

一言に下痢といっても、単純な消化不良のものや細菌・ウイルスの感染によるものなど原因は多岐にわたります。馬の状態や糞便の性状・匂いをよく観察し、適切な対応をとれるように心がけましょう。